

提供日 2013/11/4
タイトル グランシップアウトリーチ事業
担当 公益財団法人静岡県文化財団 企画制作課
連絡先 TEL 054(203)5714

静岡県文化財団
記者提供資料

～一流の講談師が、“話芸”を次世代に伝えます～
御殿場市立神山小学校で「講談教室」を開催！
子どもたちが張扇を持って日本の伝統話芸を体験

1 要旨

公益財団法人静岡県文化財団・グランシップでは、県民の皆様には芸術性の高い舞台芸術を鑑賞・体験する機会を多く持っていただき、またグランシップの活動を知っていただくために、国内外の芸術家によるコンサートやワークショップなど、多様な形態で各地の文化施設や学校においてアウトリーチ活動を積極的に実施しています。

今回は、静岡市出身の講談師宝井馬琴が平成15年度より指導してきた「講談教室」を、現在の講談界を牽引している宝井琴星が引き継ぎ、自ら小学校へ出向いて、日本の伝統話芸を次世代に伝えます。

講師の親しみやすい人柄や、聞きやすい語り口で、子どもたちだけでなく保護者や教職員の方にも分かりやすく「講談」の特徴や「日本の伝統話芸」の魅力について楽しく紹介します。

2 ワークショップ概要

区分	内容
日時	平成25年11月8日(金) 13:25～15:00
会場	御殿場市立神山小学校(御殿場市神山478-2) 体育館
参加者	6年生(5クラス119名)
講師	宝井琴星…昭和22年横浜市生まれ。昭和48年宝井馬琴門下に入門。昭和60年真打昇進。講談協会理事兼事務局長。 宝井琴柑…中学生の頃より宝井馬琴講談修羅場塾にて講談に触れる。平成18年宝井琴星に入門。平成22年二ツ目昇進。グランシップ講談教室にて平成20年より進行役を務める。
進行内容	★子どもたちが「知る」「体験する」から、本物を「聴く」までの一連を提供 ＊講談って何?…各種話芸(落語、浪曲など)の紹介や講談の特徴について、実技を交えて解説(「塚原ト伝と宮本武蔵鍋蓋試合」) ＊声を出してチャレンジ…静岡県内の地名が出てくる「東海道往来」や「水戸黄門」の名ゼリフを全員で読む。ステージに上がって張扇も使う。 ＊本物の講談を聞く…一流の講談師による講談を聞いてみる。(宝井琴星) (「村越茂助左七文字の由来」【全95分(休憩10分)】)

◆これまでの「講談教室」について



- 平成15～19年 グランシップにて開催。
- 平成20年 長泉町文化センター、裾野市民文化センターにて開催。
- 平成21年 御前崎市民会館、菊川文化会館にて開催。
- 平成22年 御殿場市民会館、沼津市民文化センターにて開催。
- 平成23年 菊川市立小笠原小学校、富士宮市立黒田小学校、焼津市立焼津東小学校にて開催。
- 平成24年 袋井市立袋井南小学校、焼津市立焼津東小学校、伊東市立富戸小学校にて開催。

3 取材申込・お問い合わせ

静岡県コンベンションアーツセンター グランシップ

指定管理者：公益財団法人静岡県文化財団 企画制作課 電話 054-203-5714 (担当：法月・渡邊)